

デジタルソリューション事業

販売・開発が一体となり、シェア拡大に向けた施策、先行投資分野における取り組みに注力します

当部門の2022年度の業績は増収減益となりました。2023年度は、2024年度の市況回復期におけるシェア拡大に向けた施策、先行投資分野における取り組みに注力していきます。また、事業構造改革(リソース配分の最適化)、コスト削減を含むオペレーショナルエクセレンスを通じて、収益力の改善を図ります。

体制面では、2023年6月に、既存事業における研究開発をCTOの管轄から事業部の管轄へ変更しました。開発部門との連携をさらに強化し、販売・開発が一体となって、外部環境の変化に迅速に対応し、取り組んでいきます。

また、販売・生産体制をより一層サステナブルなものとするため、デジタルを活用し、サプライチェーンマネジメントを強化していきます。

上席執行役員
山近 幹雄

半導体材料

事業の強み

- グローバル大手顧客との強い信頼関係
- 顧客ニーズに即した柔軟な開発・販売・生産体制
- 高分子・有機合成技術や分析技術をベースに培った製品開発力・課題解決能力
- 高品質製品の安定供給

事業環境認識

- 社会のデジタル化による半導体需要増
- デジタル技術革新による最先端材料のニーズ増
- 半導体チップの微細化、5G需要拡大
- デジタルインフラの発展

エッジコンピューティング・ディスプレイ材料

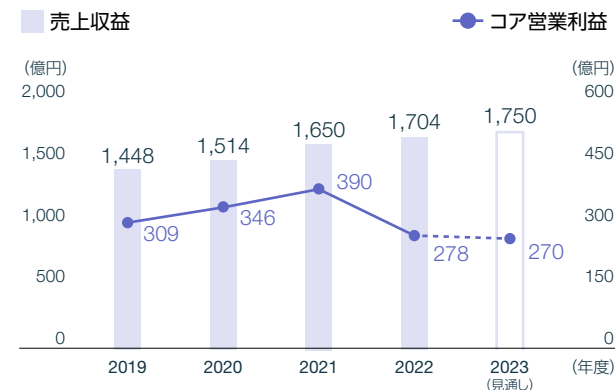
事業の強み

- 高シェア製品の保有
- 顧客ニーズに対応した販売・生産体制
- 高分子技術をベースに培った技術力

事業環境認識

- 4K・8Kなど高精細テレビの普及
- 堅調な液晶パネル需要に伴う中国での液晶パネル生産拡大

売上収益／コア営業利益



主要製品売上 (前年度比)

半導体材料	YoY ytd	事業環境 (2023年度見通し)	
		1H	2H
EUUV	+55%強		
ArF	+15%程度		
多層材料	+10%程度		
その他リソグラフィ材料	+20%程度	↘	↗
CMP材料	+20%強		
洗浄剤	+30%程度		
実装材料	微減		

ディスプレイ材料	YoY ytd	事業環境 (2023年度見通し)	
		1H	2H
配向膜	-15%程度		
絶縁膜	-15%弱		
着色レジスト	-65%程度	↗	↗
OLED材料	-5%程度		

エッジコンピューティング	YoY ytd	事業環境 (2023年度見通し)	
		1H	2H
ARTON	-15%程度	→	↗

成長戦略

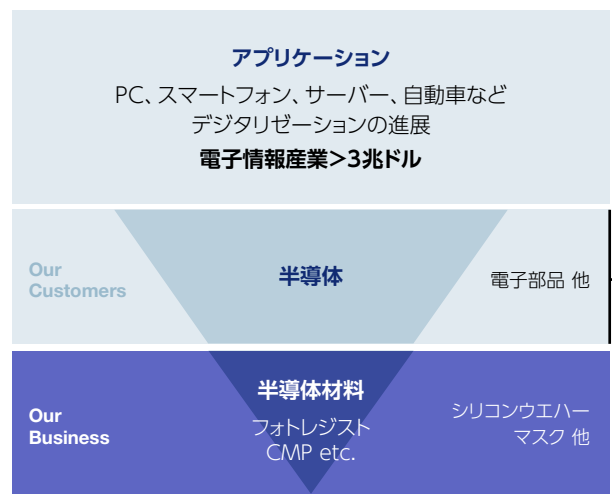
先端フォトレジストを中心に 市場成長率を上回る売上収益の実現と さらなるシェア拡大を目指す

デジタルソリューション事業の主力である半導体材料事業においては、市場成長以上の売上成長を目指します。特にArFレジスト、多層材料の市場シェアをさらに向上させるとともに、EUVレジストの本格的な立ち上がりを取り込みます。これにより、半導体材料事業の対面業界であるシリ

コンウエハー投入量の中期的な成長率を上回る売上収益の成長を目指しています。2022年度は、第5世代移动通信システムや自動運転の本格化などを背景に、プリント基板向けの先端実装材料を新たに開発・上市しました。一部に鈍化が見られるものの、今後もPCやスマートフォン、

	売上収益 市場成長以上	コア営業利益率 高利益率の維持(≧23%)
市場	規模 ●フォトレジスト市場計: 20億ドル (半導体市場: 5,500億ドル)	トレンド ●安定的に成長 ●技術革新の進展
社会的価値	●スマート社会の実現 (AI, IoT) ●小型化と省電力での高性能化の実現	
強み	●先端材料で高い市場シェア (例: ArF 30%、配向膜 50%)	
戦略	●半導体材料事業へリソースを集中 ●M&Aを含む事業規模および分野の拡大	

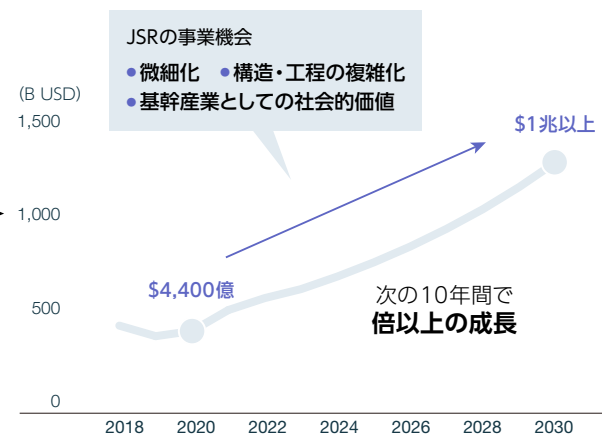
JSRのポジション



サーバー、自動車などのデジタルライゼーションの進展に伴う半導体需要の高まりに合わせて、市場成長および事業環境ベースの予想を上回る成長を実現していきます。

こうした市場環境を踏まえたうえで、さらなる拡大が見込まれているArF、EUVなどの先端フォトレジストへの注力を継続していきます。ArFフォトレジストについては、JSRがグローバルでトップシェアを確保し、世界で生産される半導体の約1/3に当社の製品が使用されている状況に満足することなく、引き続きシェアを向上させていく方針です。EUVでは、台湾・韓国市場を中心とする最先端分野の3nm(ナノメートル)世代以降およびメモリ向けへの貢献を高めてトップランナーを目指します。加えて、プロセスの複雑化に対応したCMP材料、実装材料の大幅な成長も見込んでいます。

半導体市場

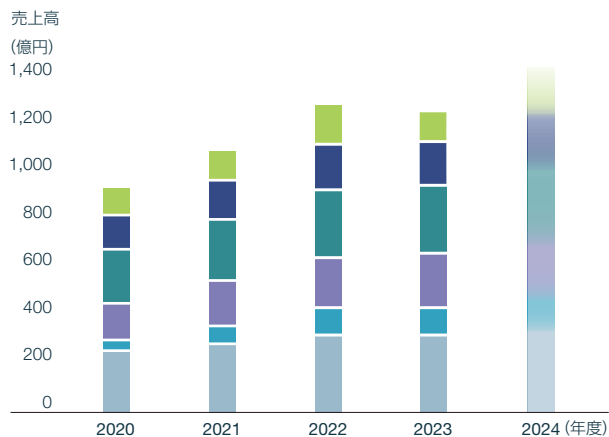


次世代EUV技術を獲得し、幅広い製品群でグローバル市場をリード

JSRグループは、四日市、米国、ベルギーの研究開発・製造・販売拠点を中心とするグローバルな供給体制を構築して、製造プロセスの最適化や技術革新に取り組むとともに、それぞれの顧客が求める製品の安定供給に努めています。そして、半導体のさらなる微細化を実現するEUVリソグラフィー技術で注目されている「メタルオキシドレジスト(MOR)」については、同製品の設計・開発・製造で世界をリードするInpriaの買収を2021年10月に完了しました。現在は、同社とのシナジー創出により、量産技術や品質管理などの高度化を実現し、MORビジネスを展開しています。

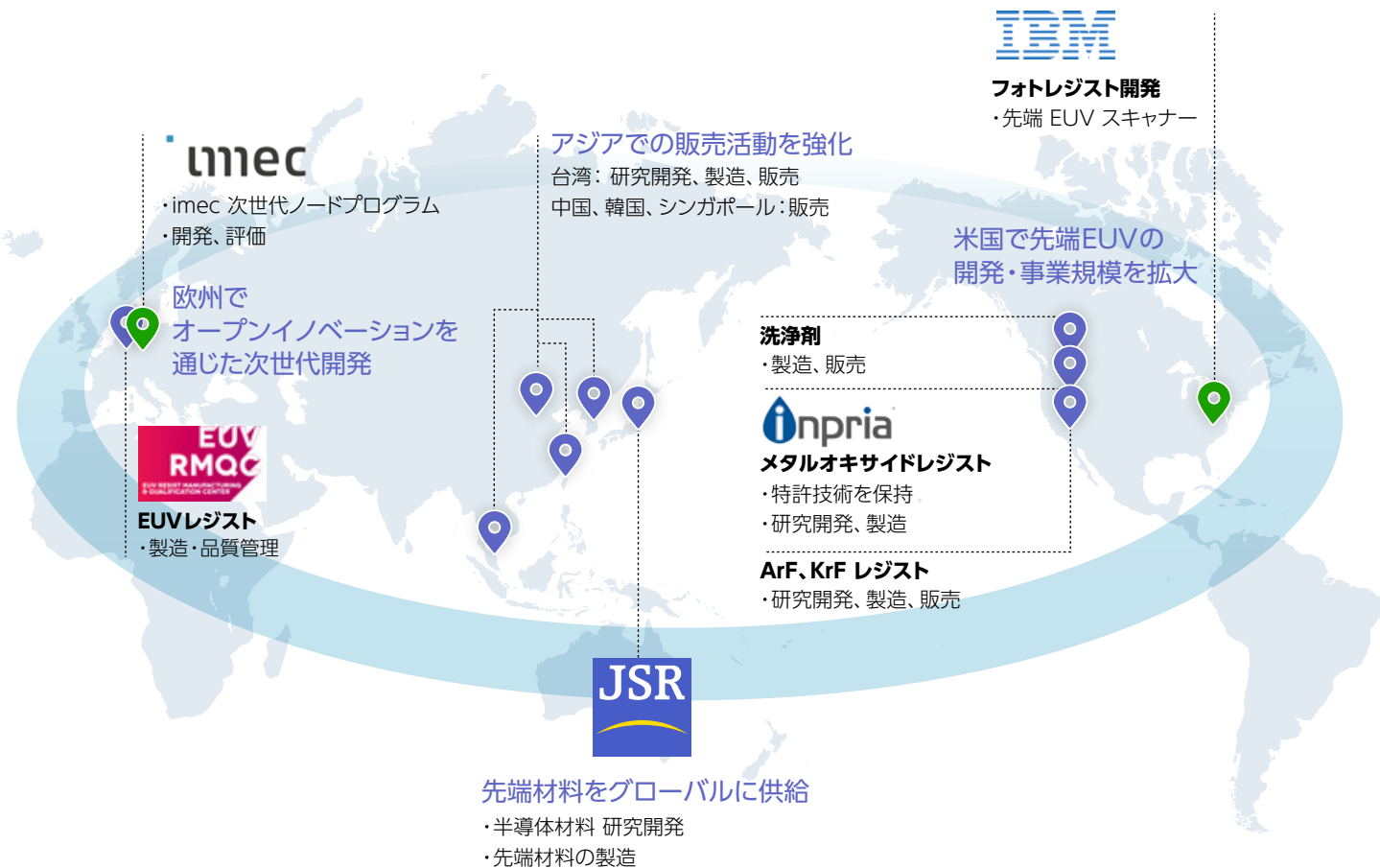
半導体材料事業計画

- ArF ■ EUV ■ KrF等その他リソグラフィー ■ 多層材料
- CMP/洗浄剤 ■ 実装材料など



半導体材料グローバル戦略

- 📍 JSR グループ企業
- 📍 共同研究拠点



構造改革

ディスプレイ市場環境が大きく変化する中 コスト構造を最適化し 先端材料の開発・販売拡大に注力

事業再編でコスト構造を最適化、 中国市場での売上・利益拡大を図る

JSRは、ディスプレイ市場環境が大きく変化する中、2020年度よりグローバルでの事業再編を実施しました。着色レジストを生産していた台湾工場は2022年3月に閉鎖、韓国工場の生産も縮小し、成長する中国市場を主要マーケットと位置づけてリソースをシフトし、コスト構造の最適化が図られました。

中国市場においては、お客様の生産調整や技術課題解決への機動的な対応に加え、当社が高い競争力を持つ配向膜・絶縁膜のシェア拡大や、OLED材料の展開を続けており、中期的にも安定的な収益を確保する事業基盤を構築しています。

配向膜・絶縁膜は、高精細・高輝度等のパネル性能向上と、歩留まり・スループット等のパネル製造における生産

性向上の両面に寄与する重要な材料です。今後、低温プロセス導入やPFASフリー等の環境対応、AR/VR・屋外パブリックディスプレイ等のアプリケーションの拡大が見込まれています。

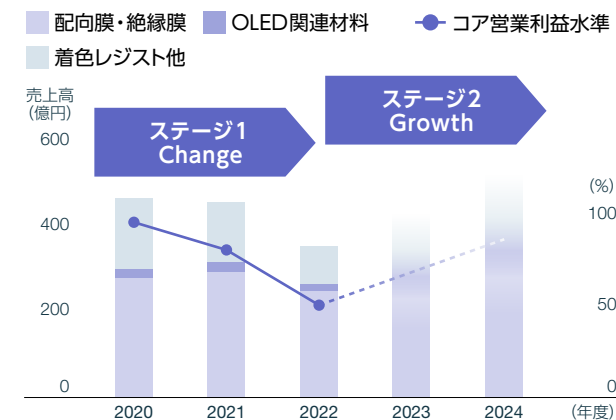
JSRは、中国事業インフラの活用に加え、パネルの技術進化に対応した先端プラットフォーム技術開発と品質競争力の強化により、お客様に先端材料・プロセスソリューションの提供を拡大するとともに、LCD材料事業のキャッシュ・フローの最大化を図り、高ROICのキャッシュカウとして持続的な事業構造を確立していきます。

短期的な市況悪化に対してはコスト削減をさらに進め、収益の改善を図るとともに、2023年以降に回復が見込まれるディスプレイ市場において、着実に売上・利益の拡大を図っていきます。

当社の強みを活かせる先端材料の 開発・販売拡大に注力

今後拡大するモバイル・IT用OLED材料の取り込みに向けて、当社の強みを活かせる低温絶縁膜材料、光取り出し効率アップ高屈折材料、低誘電薄膜封止材料などの販売拡大に注力し、ポートフォリオを拡大しています。加えて、LCD用配向膜分野では光IPS市場の開拓に注力し、売上の拡大を目指します。

事業目標への進捗



*2020年度のコア営業利益を100%とした場合

事業の 進捗

中国市場でのシェア拡大(配向膜・絶縁膜)

新製品の浸透拡大(光IPS/OLED)

・市場の構造変化に対する事業再編を完了(ステージ1)
・事業を最適化し、成長期へ(ステージ2)